

## 成澤文和君の写真個展「移り行くとき」鑑賞記

関 賢治(2組)

まだコロナ禍の終息が見えない中、9月18日(土)~10月1日(金)、JR南浦和駅東口のカメラの光盛堂Ⅱギャラリーで成澤文和君(4組)の写真個展「移り行くとき」が開催されました。

スポーツを嗜む者は大会等で入賞することを目標に、文芸を趣する方は発表会や個展を目標に日々腕を磨くことと思います。

成澤君は5年前から本格的に写真撮影を行うようになり、「わの会」など三つのクラブに所属して活躍しています。今まで何回かグループ展に参加されていましたが、今回は待望の個展の開催とのことでした。当初はテーブルフォト、スナップ、花のマクロ撮影、風景写真と被写体に対する理念が定まっていなかったが、昨年の秋以降ジャンルを自然風景中心に移ったとのこと。5年間の変遷の過程を11点の作品で「移り行くとき」として展示してありました。

コロナ禍の中、密を避けるため同期(蕨の会メンバー)の来場日を分散することとなり、21日(火)参加は小宮山豊君(2組)、原田義則君(3組)、関、25日(土)参加は上原昇君(2組)、浅倉英樹君(4組)、宮原豊君(9組)と二日に分けての訪問となりました。

写真鑑賞後、昼食は南浦和駅近のイタリアンレストラン「VANSAN」へ。

アルコール抜きでの乾杯後、写真談義はそこそこで専らコロナワクチン談義が盛り上がり、成澤君より全員にモノクロの上田高校正門写真と何故か わらび餅(蕨の会に因んでか)を土産に頂き解散となりました。久しぶりに相対で話が出来た楽しい三時間でした。

次回の個展では更にバージョンアップした成澤君(作品)に出会えることを楽しみにしています。



作品の前で成澤君



カメラの光盛堂Ⅱ内 展示風景



第1弾参加メンバー 左より 関、小宮山、成澤、原田



イタリアンレストラン VANSAN にて 左より 原田、小宮山、関、成澤



第2弾参加メンバー 左より 浅倉、上原、成澤、宮原

(21年9月26日記)